

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2024 春季生活闘争ニュース

2024. 3. 22 - 第 12 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2024 年春季生活闘争 第 2 回回答集計結果について

連合本部は、2024 年春季生活闘争につき、3 月 21 日（木）17 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

○ 平均賃金方式で回答を引き出した 1,446 組合の定昇相当込み賃上げの加重平均は 16,379 円・5.25%（昨年同時期比 4,825 円増・1.49 ポイント増）となった。第 1 回回答集計（16,469 円・5.28%）とほぼ同水準を維持しており、比較可能な 2013 闘争以降で、額・率とも最も高い。賃上げ分が明確に分かる 1,237 組合の賃上げ分は、11,262 円・3.64%（同 4,668 円増・1.39 ポイント増）で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した 2015 闘争以降、最も高くなった。

1,446 組合のうち、組合員 300 人未満の中小組合は 777 組合で、その定昇相当込み賃上げは 11,916 円・4.50%（同 3,153 円増・1.11 ポイント増）となり、全体と同じく 2013 闘争以降最も高い。賃上げ分が明確に分かる中小組合 607 組合の賃上げ分は 8,549 円・3.15%（同 3,076 円増・1.09 ポイント増）で、2015 闘争以降で最も高い。

中堅・中小組合を含め、依然高い水準の回答が続いている。引き続き「人への投資」と月例賃金にこだわって粘り強い交渉を構成組織・地方連合会とともに支援していく。

○ 要求提出済みは 4,986 組合（同 3 組合減）、うち月例賃金改善（定昇維持含む）を要求したのは 3,836 組合（同 72 組合減）である。1,182 組合が妥結済みで、そのうち賃金改善分を獲得した組合は 765 組合（同 107 組合増）に達している。

連合北海道は、3 月 22 日（金）17 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

○ 集計可能な回答を引き出した組合は 43 組合（昨年同時期比 11 組合増）、人数は 24,252 人であった。

○ 月例賃金の加重平均は、12,628 円・4.64%（同 3,390 円増・1.27 ポイント増）となった。

○ うち、300 人未満の中小組合の 28 組合で 8,090 円（同 49 円増）、300 人以上の組合は 12,987 円（同 3,681 円増）となった。

○ ベースアップ分が明確に分かる組合は 36 組合あり、全体では 8,519 円（同 3,994 円増）、300 人未満の組合では 8,442 円（同 1,972 円増）、300 人以上では 8,526 円（同 4,108 円増）となっている。

組合規模別賃上げ状況 2024 年 3 月 22 日 連合北海道集計

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	28 組合	2,383 人	8,090 円 (3.53%)	8,041 円 (3.79%)	49 円 (▲0.26%)
300 人以上	15 組合	21,869 人	12,987 円 (4.72%)	9,306 円 (3.36%)	3,681 円 (1.36%)
計	43 組合	24,252 人	12,628 円 (4.64%)	9,238 円 (3.37%)	3,390 円 (1.27%)